

民主島根

2021年
6.6
第1385号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

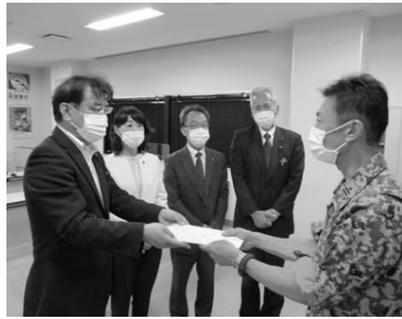
総選挙で政権交代実現し原発ゼロへ 島根原発2号機再稼働させない

島根・鳥取の党議員ら17人が意見交換

島根原発2号機再稼働に向けた原子力規制委員会の実質的な審査が終了し、6月にも事実上の合格が見込まれている問題で、立地自治体の島根県と松江市、周辺自治体の出雲、安来、雲南、米子、境港の各市、鳥取県の計2県6市の日本共産党議員らが5月26日、意見交換会を開きました。



島根原発再稼働ストップに向けて意見交換する島根、鳥取両県の地方議員ら（松江市）



冒頭、県防衛部の出雲昌浩次長、佐藤淳・原子力安全対策課長が今後の「地元同意」手続きの流れや原子力防災対策などについて説明しました。参加者からは、各自治体での運動などを巡り「議員16人中、再稼働反対が10人で過半数を占めている。再稼働を食い止めたい」（境港市）、「再稼働の是非を問う住

空自部品落下再発防止を

美保基地 尾村県議、松江市議団が要請

航空自衛隊美保基地（鳥取県境港市、米子市）所属のC2輸送機が部品欠落を繰り返している問題で、日本共産党島根県

民投票実施に向け、6月19日に設立集会を予定（米子市）などの状況が語られました。尾村利成島根県議、市谷知子鳥取県議は「総選挙で大平空自部品落下再発防止を美保基地 尾村県議、松江市議団が要請



「東京五輪は中止せよ」
尾村県議、松江市議団ら宣伝

同基地に2016年度から配備が始まったC2輸送機（現在計10機配備）の部品落下は5月13日にも発生し、延べ14件にも上っています。尾村団長らは「今回は重さ1・5キのステンレス製バネが欠落している。相次ぐ部品落下に住

日、尾村利成県議、岩田剛東部地区委員長、田中肇、舟木健治、橋ふみ各市議が昼休憩中の会社員や公務員らが行き交う商店街前で宣伝しました。（写真）

日本共産党島根県委員会では5月23日、出雲市で第87回県党会議を開きました。

民不安は高まっている」と抗議し、再発防止策や住民説明会の開催を強く要求しました。

野党連合政権の実現を 第87回島根県党会議開く

メッセージが寄せられました。「総選挙躍進特別期間」の目標達成に全力をあげるとともに、野党連合政権を実現し、党創立100周年に向けて強く大きな党をつくることをめざす「総合計画」を採択しました。新役員は次の通りです。（敬称略）

尾村県議らは、新型コロナウイルス感染症拡大で医療体制がひっ迫する中、東京五輪開催のために看護師500人、スポーツドクター1200人の派遣要請が行われていたことを紹介。医療現場からは「五輪のために派遣する余裕

鼓動

家々の庭に、街の花壇に、様々な花が咲き競う季節となった。咲き誇るといふ表現が相応しいものもあるれば、山野草のように凛とした風情でその存在を目に焼き付けてくれるものもある。その中に、6月10日「時の記念日」を象徴する一花がある。「時計草」である。その名の通り3つに分かれた雄しべは時計の長短・秒針、水平に開く花弁は文字盤のようだ。いつもならこの花を、自然界が生んだ神秘として眺めるのだが、今年はずいぶん「時間」そのもの。コロナウイルス感染症の最前線にある多くの医療従事者、エッセンシャルワーカー、そして感染を恐れながら生活する国民一人一人に与えられた「時間」を思わせる。▼コロナ禍と呼ばれるこの期間、政府に翻弄されていると感ずるのは、時間を意識した「見直し」ある政策もなければ、そこに「希望」も感じられないからだ。本来何かをやり遂げる際には、目標を掲げ根拠のある計画を策定し、タイムスケジュールとともに見直しをもちながら実践するものだ。これは何も効率化のためだけではない。時間には限りがあり、全ては時間との闘いである。知っているからだ。▼菅政権にはこの時間感覚が欠けてはいないか。そうかと思えば「高齢者へのワクチン接種の7月末完了」という裏付けのない目標・期日を自治体に押し付け混乱を生む始末。政府の責任は、各自治体の実態と問題点を把握し、実情に即したやり方を支援することであろう。時間は刻々と過ぎる。政権が左右する「時間」には、国民の貴重な時間も内包されていることを忘れないでいただきたい。（江）